



Number 1
[生産量世界No.1]

パワーウィンドウスイッチ

かつて、ハンドルを回して昇降させていた車の窓ガラス。現在では、スイッチ一つで簡単に操作できるパワーウィンドウがほとんどの車に標準搭載されています。車に搭載されている操作スイッチの中でも使用頻度が高いこのパワーウィンドウは、車の電子化が進み始めた1980年代に飛躍的に普及していきました。

当社では、当時のこの流れにいち早く対応し、家電製品などの電源オン/オフに使用する「電源スイッチ」の技術を応用したパワーウィンドウスイッチを開発。1986年に第一号製品が誕生しました。

その後、1990年代にシェアを大きく伸ばしましたが、このきっかけが「スイッチ・セル」の採用です。これは、大電流が流れる接点まわりを一つの「セル」として標準化することで、部品点数の削減と信頼性の向上を図るとともに、設計時間を大幅に短縮しました。

機能面では、窓ガラスの昇降中に、手など異物を挟むと動きを反転させる「挟み込み防止機能」で独自のアルゴリズムを開発。厳しい環境下でも1000分の1秒という速さでの正確な検知を実現。また、大電流による発熱の危険性に対し、独自のパターン設計技術を用いることで電子基板の温度上昇を抑えることに成功するなど、安心、安全に貢献しています。更に、スイッチのフィーリングの快適性実現により、各自動車メーカーの高級車から中・小型車まで幅広く採用されており、現在、シェアは約25%で、世界一の生産量となっています。

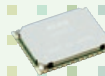
開発・設計は古川工場(宮城県大崎市)で、生産はメキシコをはじめとした世界各国の現地法人で行っています。また、韓国では開発から生産までの一貫体制を構築しています。

今後も市場ニーズと独自の技術をマッチさせた、優位性のある製品開発を進めていきます。

ALPS REPORT

第82期 第1四半期報告書

アルプス電気株式会社 2014年9月8日発行



NO.156

Top Message

皆様へ

ごあいさつ

残暑もやわらぎ、さわやかな秋風が穂を揺らすしのぎやすい季節となりましたが、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当第1四半期における世界経済は、概ね緩やかな回復が続きました。米国では、雇用や個人所得の改善などから底堅い成長が続き、欧州でも債務問題が一段落して、まだら模様ながらも持ち直し傾向となりました。中国では、消費の伸び悩みなど経済成長に減速感が見られ、新興国でも通貨・金融の不安などから、景気の伸びは鈍化したものの、依然として拡大傾向にあります。

一方、日本経済においては、消費税増税による駆け込み需要の反動減があったものの、企業の設備投資の増加や公共投資の下支えなどにより、景気は緩やかな回復基調が続きました。

さて、去る6月20日に、第81回定時株主総会を当社本社ホールにて開催し、提案した議案は全て承認可決されました。当社は、かねてより「開かれた株主総会」を目指し、説明責任を確実に果たすべく取り組んでおります。私は、2004年に取締役に選任されてから、株主総会への出席は今年で10年目となりました。毎回、株主の皆様とお会いする度に、取締役としての初心に戻り、責任と義務を改めて自覚して気持ちが引き締まります。私同様、すべての役員も同じ心境で臨んでおり、この気持ちは決して忘れてはならないと、役員全員が深く心に刻んでおります。

今回は、株主の皆様から、成長戦略や将来の開発目標、また財務状況や利益計画などについてのご質問を頂戴いただきましたが、それぞれ、ご説明差し上げた内容にご理解いただけたものと思っております。



直近の業況では、現在、民生その他市場でスマートフォン向け新製品の急激な生産立ち上げと既存製品の増産を進めております。

一方、車載市場では、モジュール製品で、従来より一段と高い安全性、信頼性が要求される新製品の量産化が進んでおりますが、実車テストなども含めた評価をお客様の技術部門と一緒に取り組んでおります。

これら繁忙のなかでも、他の新製品開発や拡販・改善活動にも決して手綱を緩めぬよう社内に号令をかけ、計画達成に鋭意、尽力しております。皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長

栗山年弘

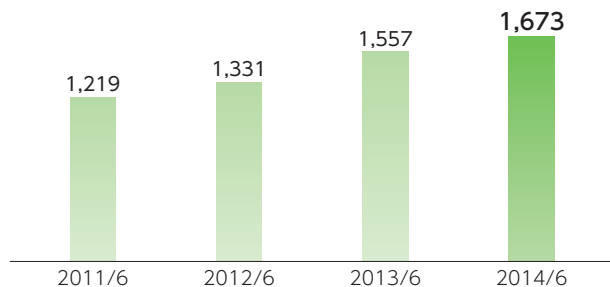
財務ハイライト

2014年4月1日～2014年6月30日

連結業績の概況

売上高

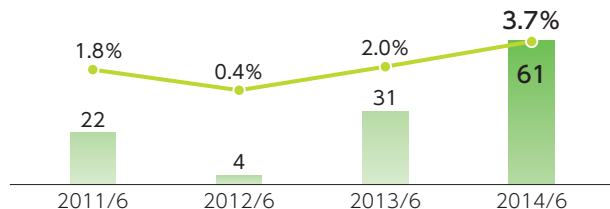
(単位：億円)



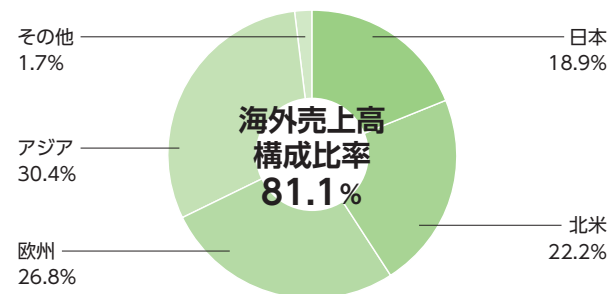
営業利益・営業利益率

(単位：億円)

● 営業利益率

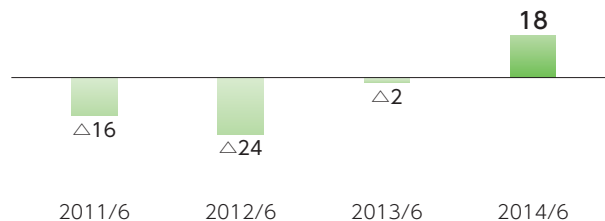


地域別売上構成



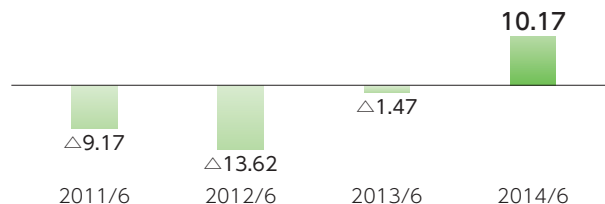
四半期純損益

(単位：億円)



1株当たり四半期純損益

(単位：円)



通期の見通し

2015年3月期 業績予想

売上高	6,850億円	(前期比 0.1%)
営業利益	310億円	(前期比 8.7%)
経常利益	290億円	(前期比 3.2%)
当期純利益	170億円	(前期比 18.8%)

※想定為替レート：1ドル = 100円
1ユーロ = 135円

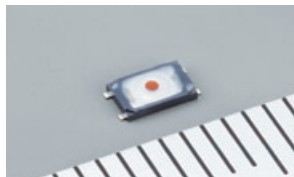
未来の社会を支える注目の新製品

人と地球の明日を豊かにする、暮らしに役立つ新製品を紹介します

ALPS®

業界最小サイズかつ確実な操作性を両立

タクトスイッチ®ダブルアクションタイプ



主な用途

スマートフォンなどのモバイル機器、ウェアラブル端末、デジタルカメラなど電子機器

スマートフォンをはじめとした各種モバイル機器では、より携帯性の向上や多機能化が進んでいます。そのため、これらの機器に搭載される電子部品には更なる小型化と快適な操作性の両立が求められています。

特にデジタルカメラやモバイル機器で、ピント合わせと撮影の二度押

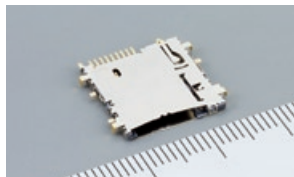
し機能を持つスイッチがありますが、小型化によって良好な操作フィーリングが損なわれる場合があり、この両立を図るには技術的な課題がありました。

そこで、当社が長年培ってきた機構設計技術を生かし、開発したのがダブルアクションタイプのタクトスイッチ®。このタイプでは業界最小となる、3.40mm×2.20mm×0.62mmの小型化を実現。独自のノウハウによって形状、材質を最適化したメタルコンタクト（接点）を新たに開発。小型ながら優れた操作フィーリングを実現しました。

また、本製品表面に、プロジェクション（突起）を設けることで、スイッチを容易かつ確実に押すことができるため、セット側のデザイン・設計もし易くなりました。更に、防塵・防水規格の「IP67」に対応し、ほこりや水の侵入を防いで耐久性を高めるなど、市場のニーズに対応しました。

業界最薄0.69mmの製品実装高さを実現

microSD™メモリーカード用コネクタ 基板落とし込みタイプ



主な用途

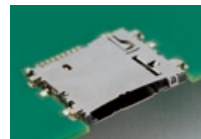
タブレット端末やスマートフォンなどの各種モバイル機器、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ

タブレット端末やスマートフォンは、携帯性向上のための薄型化に加え、最近では、写真や動画の高画質化、音楽データの高音質化が進み、データ取扱容量が増大しています。各機器にはその保管先としてメモリー

カードが装備され、これと機器をつなぐために使用されるコネクタもより薄型、小型化が求められています。

本製品は、これまでの製品薄型化技術に加えて、基板の一部を切り落として実装するタイプとしたことで、基板からの高さが業界最薄となる0.69mmを実現しました。

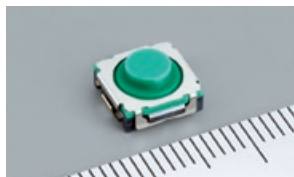
更に、耐久性も重視。コネクタの上下を金属枠で覆う構造とし、カードをひねってしまったり、いわゆる「こじり動作」を行った場合でも壊れにくく、また、カードの挿抜検知機能に、信頼性の高いしゅう動接点構造を採用した検出スイッチを搭載するなど、高品位な製品となっています。



基板切り落とし実装例

車室内の静粛性や機器操作の快適性に寄与

タクトスイッチ®静音ミドルストロークタイプ



主な用途

ステアリング、オーディオなどの各種車載用操作スイッチ。産業機器、計測機器など

自動車には、センターコンソールのエアコンやオーディオ操作で、またステアリングにはハンズフリー通話などで、快適性、安全性に寄与する、さまざまなスイッチが搭載されています。

これらは、温度や振動など厳しい車室内環境への対応はもちろんのこと、操作フィーリングによって高級感や自動車メーカーごとの統一感を持たせたり、エンジン音のない電気自動車での静粛性を保つよう、静音性が求められるなど、快適な車室内環境づくりへの対応も重要な要素の一つになっています。

こうした市場ニーズに応えるため、当社は、静音タイプで良好なフィーリングを持つタクトスイッチ®の新製品を開発しました。

本製品は、当社が長年培ってきた機構設計技術と、独自ノウハウでの形状、材質の最適化によって、新しいメタルコンタクト（接点）を開発しました。これにラバーを組み合わせることで、操作時の静音化を実現。更にスイッチが動作するまでの押し込みを0.9mmとするミドルストロークの採用で好フィーリングも達成しました。

2014年4月

- 当社ホームページをリニューアル

2014年5月

- 第62回 電設工業展(JECA FAIR 2014)にアルプス・グリーンデバイス(株)と共に初出展
- 業界最小サイズの「タクトスイッチ®ダブルアクションタイプ」を発表
- 好フィーリングと長寿命性能を両立した「タクトスイッチ®サイドプッシュタイプ」を発表
- ワイヤレスジャパン2014で、無線電力電送システムを出品

2014年6月

- 第81回定時株主総会を開催
- アルプス・ノースアメリカがセンサエキスポ2014(米国シカゴ開催)に出展
- 株式会社チップワンストップ運営通販サイトに「ALPS e-shop」を開設

2014年7月

- 基板落とし込み実装により業界最薄の実装高さを実現した「microSD™メモリーカード用コネクタ」、「microSIMカード用コネクタ」を発表
- TECHNO-FRONTIER 2014に出展
- 静音と好フィーリングを両立した車載向け「タクトスイッチ®静音ミドルストロークタイプ」を発表
- 2014年度第1 四半期決算を発表

第81回定時株主総会を開催

6月20日(金)10時より、本社ホールにて第81回定時株主総会を開催し、前年を上回る220人の株主の皆様にご来場頂きました。

総会では、上場子会社2社(アルパイン(株)、(株)アルプス物流)を含む当社グループ連結業績を、映像を使いながら報告。続いて、栗山社長から当社事業活動と、本年2014年度以降の事業方針・取り組みについて説明を致しました。

その後、13人の株主様からご質問やご意見を頂き、栗山社

長及び関係取締役から回答差し上げました。なお、全議案とも賛成多数により、原案通り承認可決され、また、これにより、当社では約2年ぶりとなる株主の皆様への配当のお支払いが決まりました。

総会に際し、ショールームエリアでは、当社グループの製品をご覧頂くとともに、本社ビル内の「ALPS MUSEUM 未来工房」をご見学頂きました。また、閉会後に行われた株主懇談会は、和やかな雰囲気の中、全役員と株主の皆様とのコミュニケーションの場として有意義な時間となりました。

株式会社チップワンストップ運営通販サイトに「ALPS e-shop」を開設

株式会社チップワンストップ(以下「チップワン」)は、企業的设计・開発エンジニアや大学、研究所、公的開発機関など幅広いお客様に向けて、チップワンの運営する電子部品・半導体通販サイト内に、当社のウェブストア「ALPS e-shop」を開設致しました。

およそ1,300点の製品をラインアップするとともに、その内の約800点は1個から、ご購入頂けるようになりました。

また、在庫があれば当日出荷にも対応し、16万人ものチップワンの会員様に対して、当社の製品をスピーディーにお届けすることを可能としています。今回のウェブストア開設により開発・試作用途や生産現場などで製品を短納期かつ小ロットで購入したいというお客様のニーズにお応えします。

URL: <http://www.chip1stop.com/alps/>

新任取締役のご紹介

6月20日に開催された第81回定時株主総会において、新任取締役1名が、賛成多数により選任されました。

取締役 だいおうまる たけし
大王丸 健

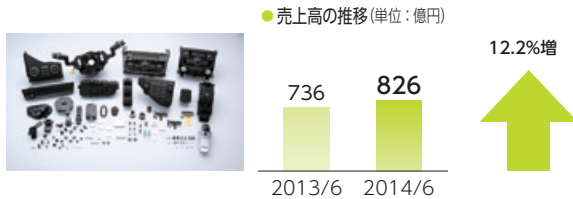
1981年4月 当社入社
2013年4月 営業本部副本部長兼
グローバル営業統括部長



事業別の概況

2014年4月1日～2014年6月30日

電子部品事業



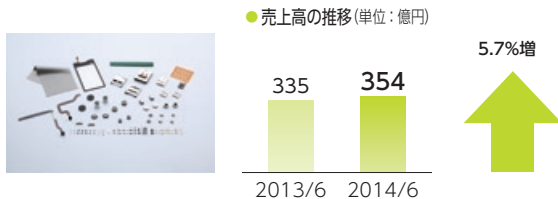
主要各国での自動車需要の増加や、中国メーカーによる低価格帯のスマートフォンが新興各国で需要を喚起するなど、それぞれ市場は拡大傾向となりました。安全、省エネ、快適性に向け、より電子化が加速する自動車市場で、当社の車載用電子部品や各種モジュールの搭載が進みました。民生機器では、より裾野を広げるスマートフォン向けの電子部品が着実な伸びを示しました。

車載市場



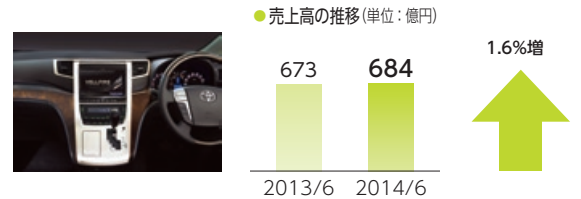
車載市場では、人と車をつなげるヒューマン・マシン・インタフェースの領域を更に深耕して、スイッチやセンサをはじめ、各種操作入力用モジュールなど独自製品の開発に注力し、新製品を投入しました。また、各自動車メーカーに対し、技術イノベーションによる、近未来を見据えたさまざまな提案を進めるとともに、より緊密なサポートを実施。更に当社のグローバル生産及び販売ネットワークを拡充したことなどにより、概ね順調に推移しました。

民生その他市場



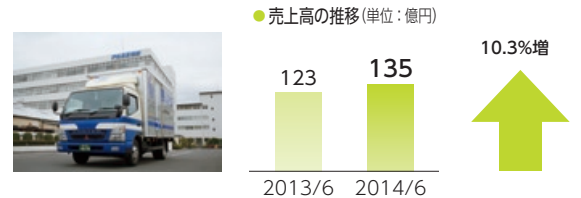
民生その他市場では、テレビやゲーム、デジタルカメラなど民生機器向けの電子部品が、依然として低調に推移したものの、市場規模の拡大が進むスマートフォン向けでは、各種スイッチやカメラ用アクチュエータなどのコンポーネント製品が着実な伸びを示し、売上高・利益ともに前年同期を上回る結果となりました。

車載情報機器事業



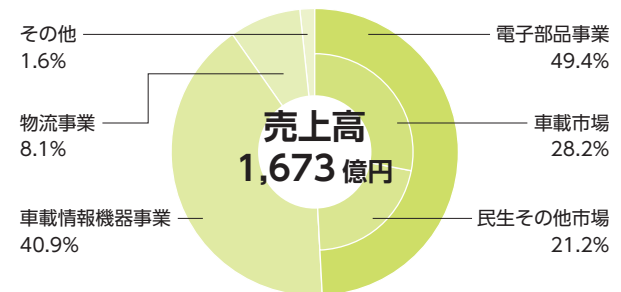
アルパイン(東証一部)では、北米市販市場にピックアップトラックやSUV向け車種専用大画面ナビゲーションなど、付加価値の高い新製品を投入しました。更にスマートフォンとの連携強化のため、Apple社のCarPlay®に対応したディスプレイ・オーディオを開発し、対外発表をしました。また、国内市販市場向けに世界最大サイズ10インチ大画面ナビゲーションを新たに投入し、他社との差別化を図りました。

物流事業



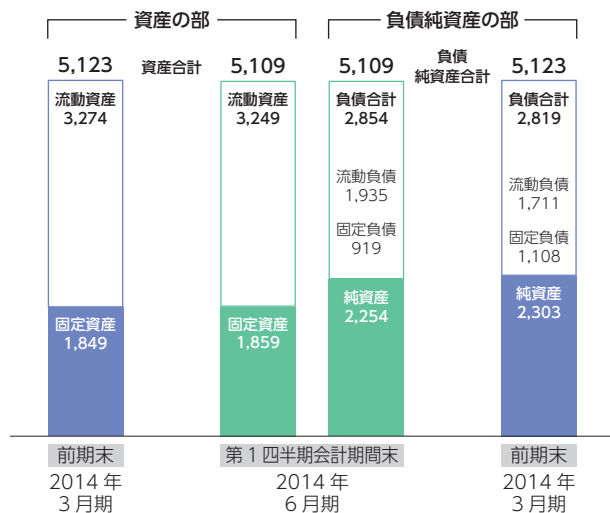
アルプス物流(東証二部)では、グローバル・ネットワークの拡充や、国内・海外が一体となった提案を推進するとともに、運送・保管・輸出入各事業それぞれの生産性向上に取り組みました。ネットワーク面では、韓国において、1月に仁川空港近隣で倉庫を設立し、4月には釜山に事務所を開設しました。韓国の航空、海上の国際ハブとなる両地区に拠点を設置し、輸出入貨物の取扱量拡大を推進しました。

事業別売上高構成比



連結貸借対照表の概要

(単位: 億円)



ポイント

① 流動資産

流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少と、たな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末と比べ24億円減少の3,249億円となりました。

② 固定資産

固定資産は、建物及び構築物、工具器具備品及び金型、建設仮勘定の増加と、投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末と比べ9億円増加の1,859億円となりました。

③ 負債合計

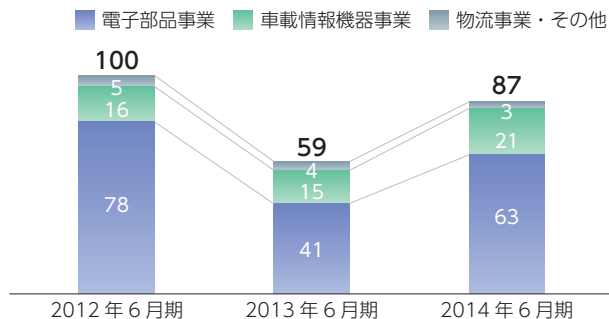
流動負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加と、賞与引当金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ223億円増加の1,935億円となりました。

固定負債は、長期借入金の減少と、退職給付に係る負債の増加などにより、前連結会計年度末と比べ188億円減少の919億円となりました。

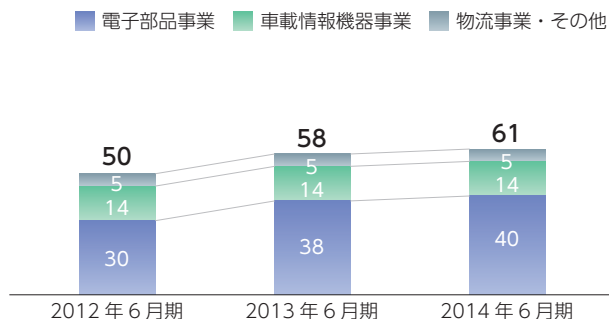
設備投資・減価償却・研究開発の推移 (単位: 億円)

※内訳には連結消去を含んでおりません。

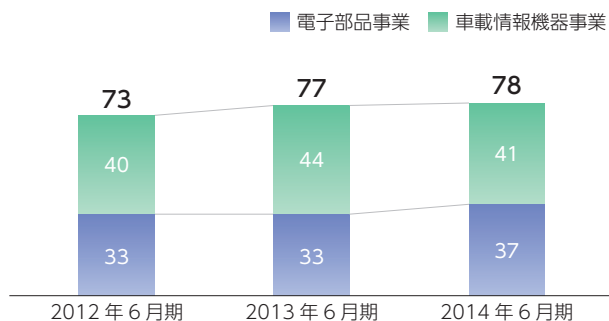
設備投資



減価償却費



研究開発費



株式情報

■ 株式状況

会社が発行する株式の総数 発行済株式総数
500,000,000 株 **181,559,956 株**

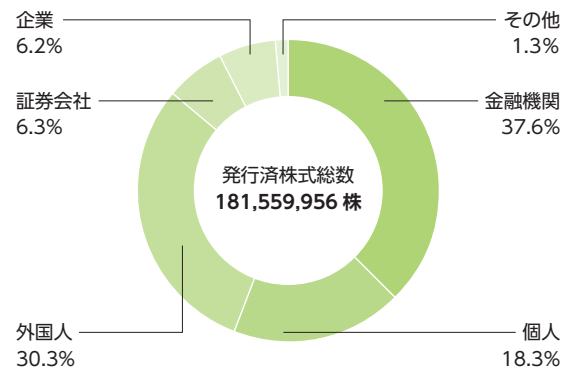
■ 大株主の状況

(2014年3月31日現在)

順位	株主名	株式数	持株比率
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,127,100	11.09%
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,690,400	9.19%
3	株式会社東芝	4,075,200	2.24%
4	三井住友海上火災保険株式会社	3,596,400	1.98%
5	三井生命保険株式会社	3,591,000	1.98%

■ 所有者別分布状況

(2014年3月31日現在)



(注) その他は、自己名義株式と保管振替機構名義の失念株式です。

(注) 個人は、個人・持株会名義の株式です。

●ALPS SHOW 2014のご招待へのお申し込みについて

前号でご案内しましたショー見学の募集につきましては、募集人数の200名を大幅に上回る多数の株主様からご応募頂きました。改めまして厚く御礼申し上げます。

厳正なる抽選の結果、ご招待させて頂く株主様にはご招待状の発送をもってお知らせ致します。ご応募頂きましたが抽選から漏れた多くの株主の皆様には、ご意向に沿えない結果となりまして、まことに申し訳ございませんでした。

なお、ショーの内容については、次号157号(2014年初冬発行予定)で特集ページを設けてご紹介する予定です。

■ 会社の概要

(2014年8月31日現在)

社名 アルプス電気株式会社
 英文社名 ALPS ELECTRIC CO., LTD.
 本社 〒145-8501
 東京都大田区雪谷大塚町1番7号
 TEL. (03)3726-1211(大代表)
 (03)5499-8026(IR部門直通)

設立 1948年11月1日
 資本金 23,623,571,711円
 発行済株式総数 181,559,956株

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
 基準日 定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日
 期末配当金支払株主確定日 毎年3月31日
 中間配当金支払株主確定日 毎年9月30日
 その他あらかじめ公告して定めた日

定時株主総会 毎年6月下旬
 公告掲載 電子公告により、当社ホームページ
 (<http://www.alps.com/j/ir/index.html>)
 に掲載します。なお、やむを得ない事由により、
 電子公告ができない場合は、日本経済新聞に
 掲載します。

上場証券取引所 東京(第一部)証券コード6770
 1単元の株式数 100株

株主名簿管理人及び
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 ホームページ <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

三菱UFJ信託銀行証券代行部

【ご注意】

- 住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、お取り引きのある証券会社などにお問い合わせください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■ 株式事務に関するお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行証券代行部 テレホンセンター

お問い合わせ

☎0120-232-711

(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)

住所変更等諸届用紙ご請求

☎0120-244-479 (24時間受付)



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。